2014年2月10日

2013年１２月期　決算説明会

経　営　報　告

ライオン株式会社

代表取締役社長　執行役員

濱　逸夫

2013年
業績と経営の取り組み

2013年の方針・取組内容

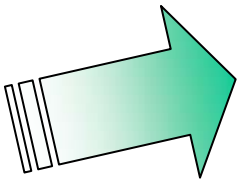
LION

1．国内事業の質的成長

◇一般用消費財事業

■高付加価値型・市場創造型商品の育成

→商品構成の改善　→販促費の効率化



最重要課題

国内事業の収益力回復

◇産業用品事業

■重点分野の用途開発、海外・新規顧客の開拓強化

2．海外事業の量的成長

■オーラルケア・洗濯用洗剤Ｎｏ.１に向けたマーケティング投資拡大

■エリア拡大・研究開発体制充実

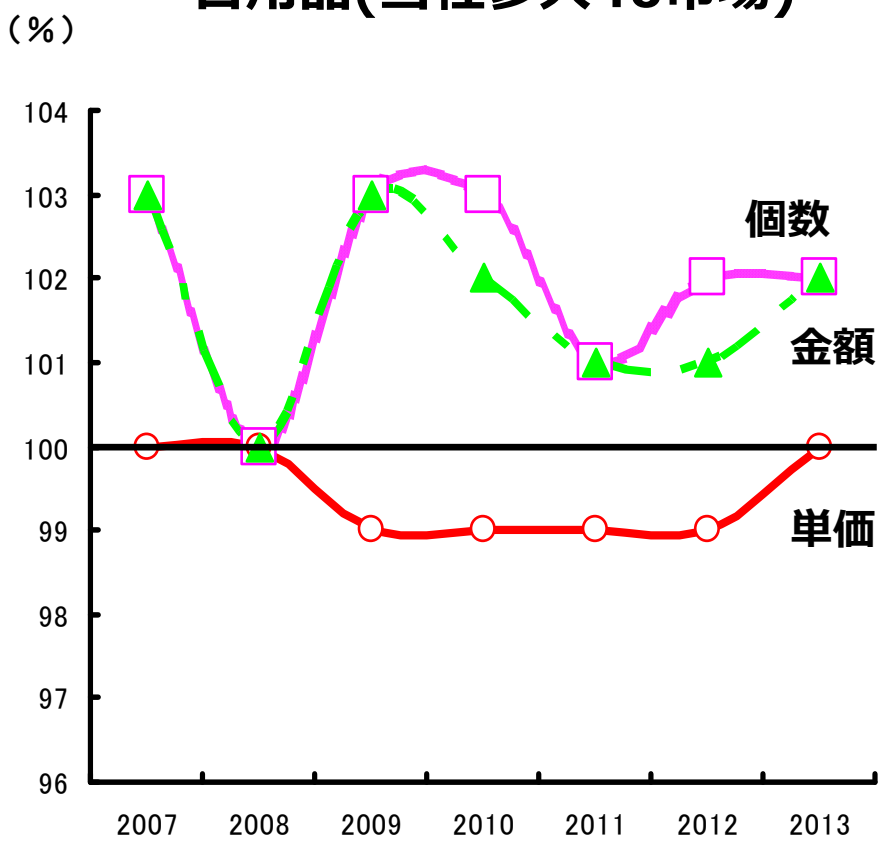
3．新しいビジネス価値の開発

■通販事業：ＱＯＬを高める第２の柱の創出

2013年の経営環境

国内市場の推移　（対前期比）

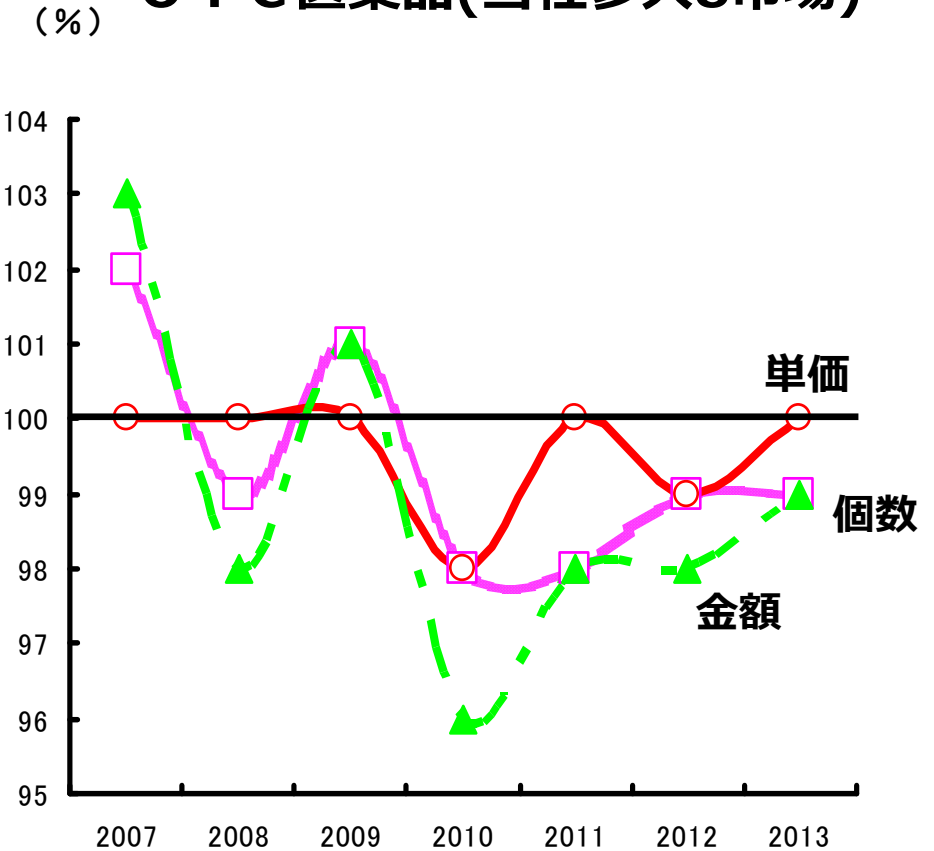
日用品(当社参入40市場)



※2010年までは44市場、2012年までは42市場

(㈱インテージ　ＳＲＩデータ)

ＯＴＣ医薬品(当社参入8市場)



(㈱インテージ　ＳＤＩデータ)

決算ハイライト 全社業績概要（対前期、対公表予想）

(単位：億円)

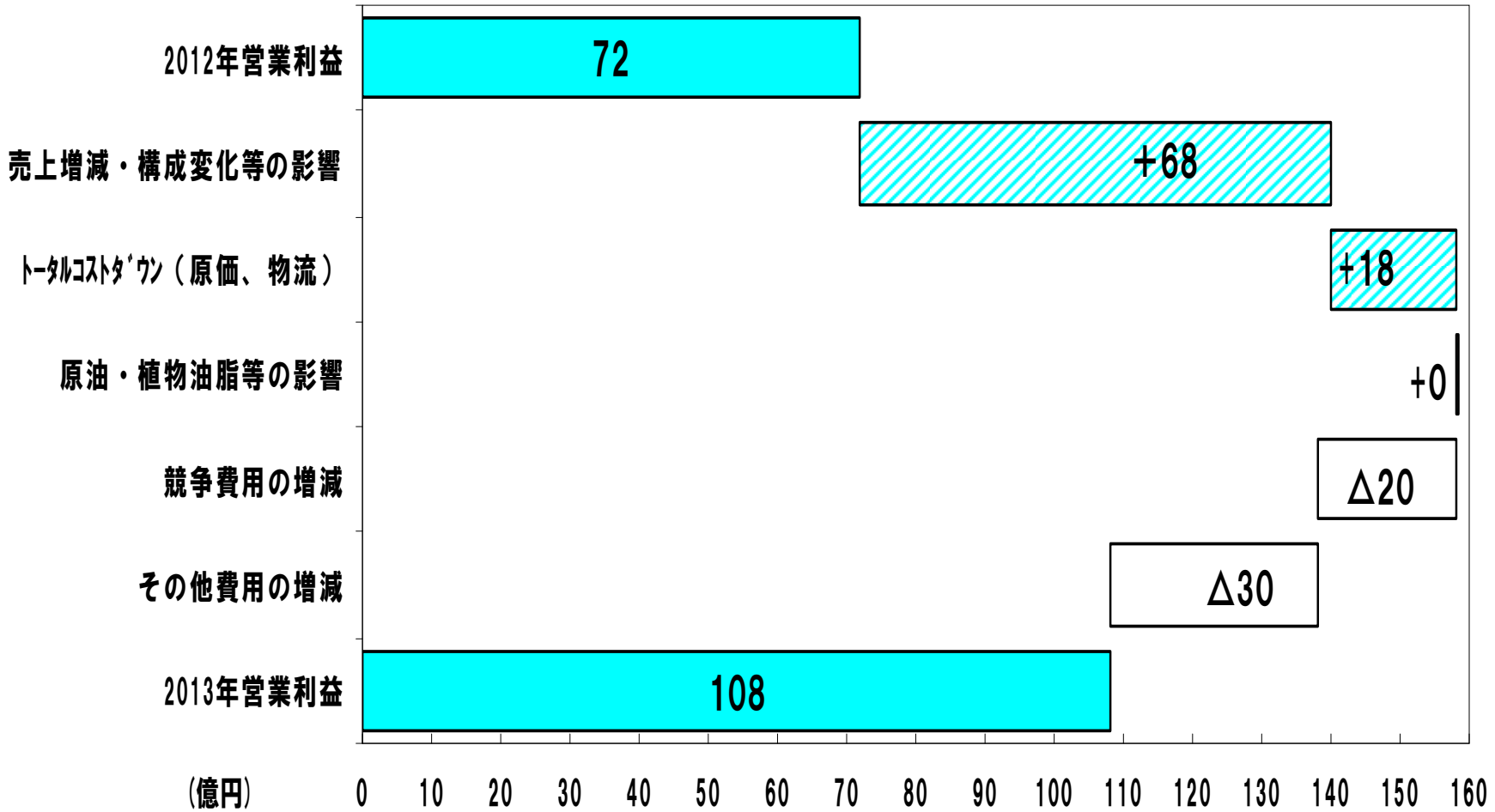
	2013年実績	2012年実績	対前期増減		対公表増減(8/2修正)	
			額	率(%)	額	率(%)
売上高（億円）	3,520.0	3,351.7	168.3	5.0	0.0	0.0
営業利益（億円）	108.1	72.1	36.0	50.0	8.1	8.2
対売上比(%)	3.1	2.2				
経常利益（億円）	123.0	85.6	37.3	43.6	13.0	11.8
対売上比(%)	3.5	2.6				
当期純利益（億円）	60.9	42.3	18.6	43.9	0.9	1.6
対売上比(%)	1.7	1.3				

・売上：海外事業の増収等により、前年ならびに修正公表値を達成。

・利益：一般用消費財事業における商品構成の改善・競争費用の効率化等により前期および公表値を上回る。※経常利益は過去最高を更新

決算ハイライト 連結営業利益増減要因（対前期比）

【営業利益増減要因】



海外を中心とした売上高の増加に加え、国内一般用消費財事業での商品構成の改善に取り組み、営業利益が大幅に改善

決算ハイライト セグメント別業績概要

LION

【総売上高】

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2013年実績	2012年実績	対前期増減		2013年実績	2012年実績	対前期増減	
			額	率(%)			額	率(%)
一般用消費財	2,652.0	2,660.4	△8.3	△0.3	72.8	43.0	29.8	69.4
産業用品	516.3	497.8	18.4	3.7	7.7	3.6	4.1	115.8
海外	768.6	591.7	176.9	29.9	14.3	14.6	△0.2	△1.9
その他	287.2	297.9	△10.7	△3.6	10.1	9.7	0.4	4.6
小計	4,224.2	4,047.9	176.2	4.4	105.1	70.9	34.2	48.2
調整額	△704.2	△696.2	△7.9	–	3.0	1.1	1.8	160.0
連結計	3,520.0	3,351.7	168.3	5.0	108.1	72.1	36.0	50.0

一般用消費財：売上高は前期並み、営業利益は大幅増加
産業用品：増収増益
海外：増収基調、営業利益は前期並み（為替変動の影響を除いた売上高は＋５.２％）

一般用消費財事業　施策と成果

商品構成の改善→増益

高付加価値品育成













汎用品の価格安定化による販促費効率化





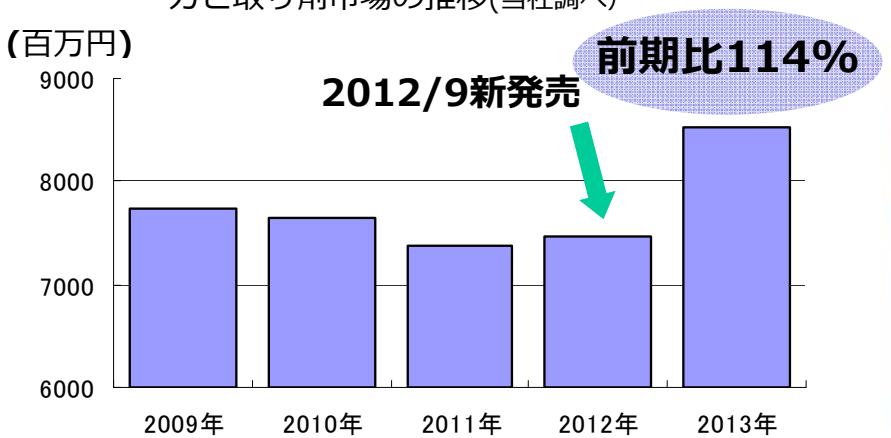
一般用消費財事業　施策と成果

商品構成の改善：新市場創造型商品の育成

- 「ルックおふろの防カビくん煙剤」

カビ取り剤市場の拡大に寄与

カビ取り剤市場の推移(当社調べ)





- 「Banシャワーデオドラント」

20～30歳代のﾃﾞｵﾄﾞﾗﾝﾄｳｫｰﾀｰ市場開拓



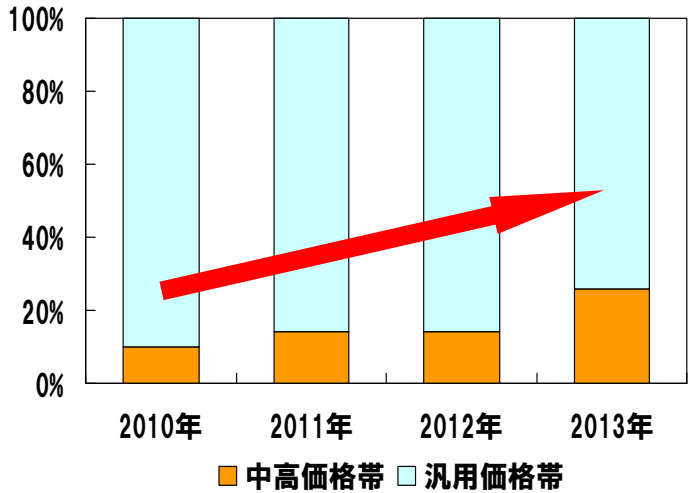
年代別ﾃﾞｵﾄﾞﾗﾝﾄｳｫｰﾀｰ剤の購買金額前年比

10代：　９５%
20代：１１８%
30代：１０９%

(13年2-9月前年比、当社調べ)

商品構成の改善：高付加価値品へのシフト

●中高価格帯目薬の当社販売構成比



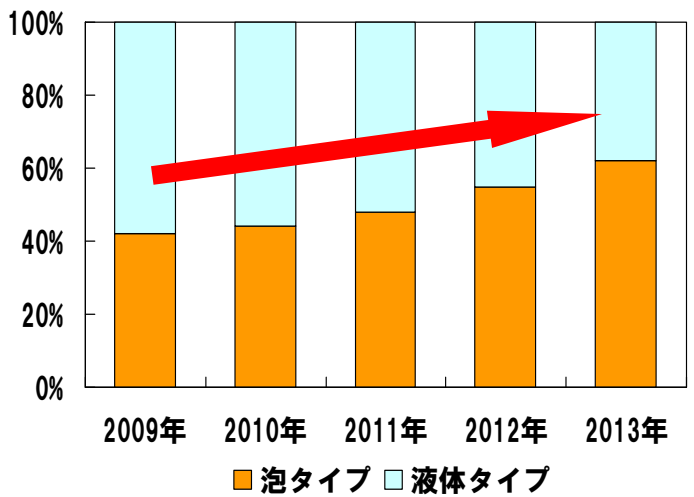


汎用価格帯



中高価格帯

●泡ハンドソープの当社販売構成比





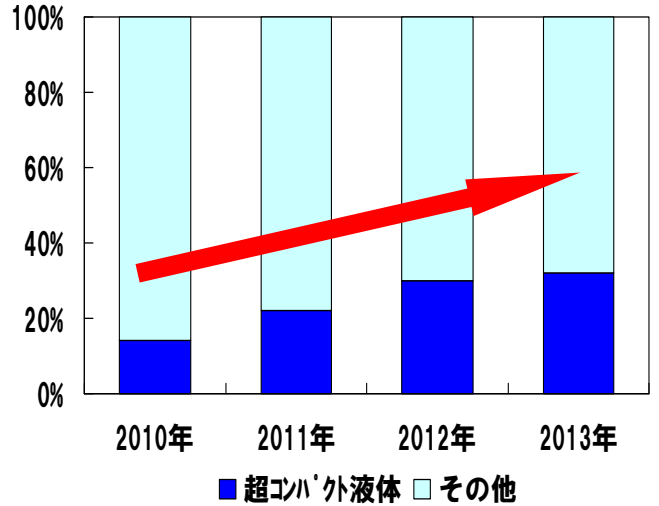
液体タイプ



泡タイプ

商品構成の改善：高付加価値品へのシフト

●超コンパクト洗濯用液体洗剤の当社販売構成比



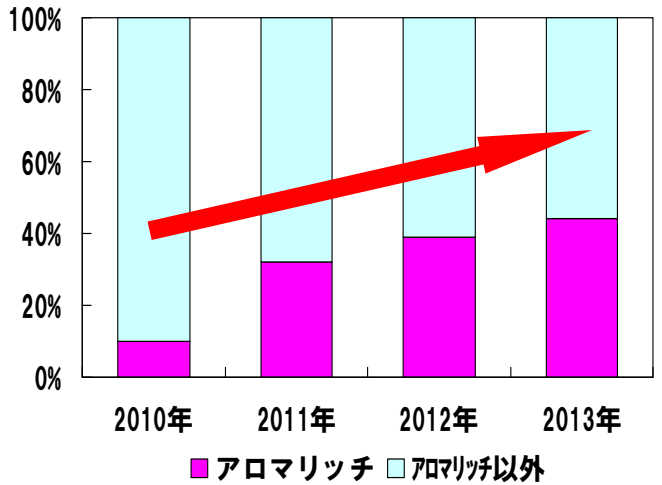


粉末洗剤



超ｺﾝﾊﾟｸﾄ液体洗剤

●高残香柔軟剤の当社販売構成比





従来型柔軟剤



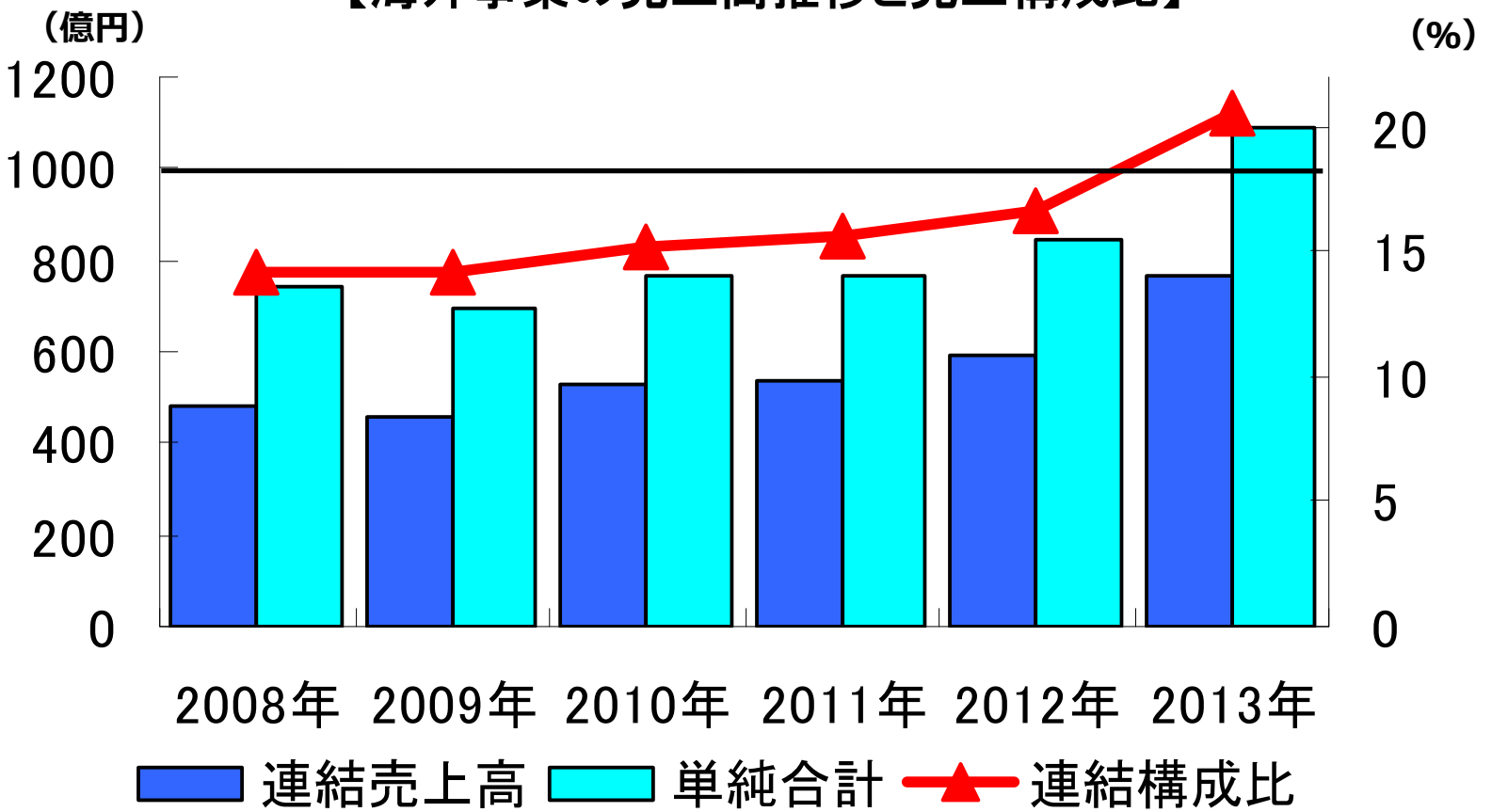
高残香柔軟剤

海外事業　施策と成果

LION

・売上高：1,000億円突破（持分法適用会社含む）
・連結売上高構成比：17%→21%

【海外事業の売上高推移と売上構成比】



海外事業　施策と成果

◇積極的な新製品の導入

●グローバルブランドとローカルブランド強化

オーラルケア（歯磨・歯刷子）



タイ





インドネシア



シンガポール

洗濯用洗剤



シンガポール



マレーシア



タイ

◇新規進出エリアの拡大

●フィリピンでの事業開始

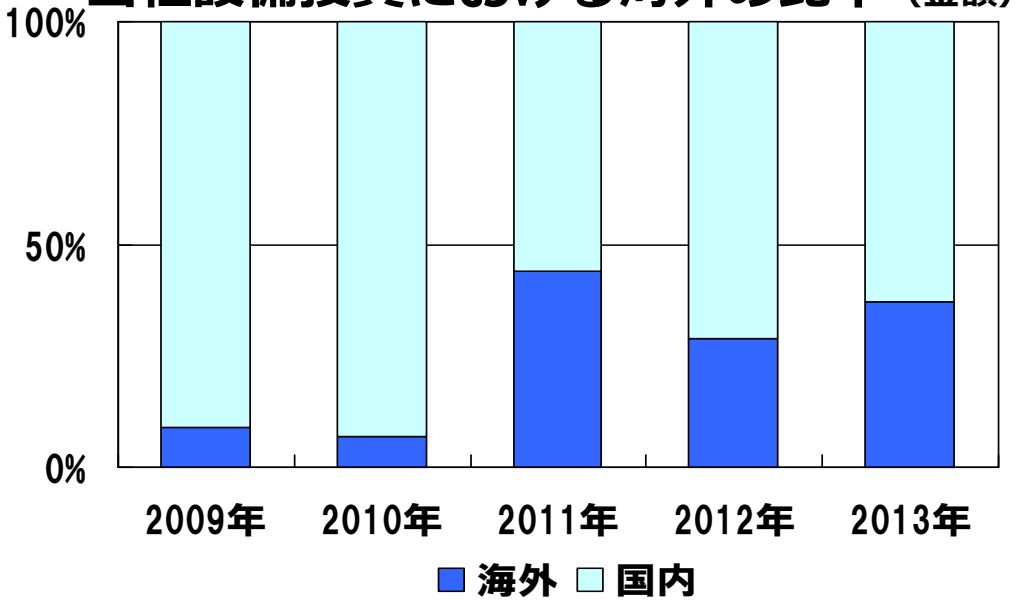




海外事業　施策と成果

◇生産設備拡充

当社設備投資における海外の比率（金額）



海外での投資増加

オーラルケア新工場（タイ）



洗濯用液体洗剤新工場（マレーシア）



MES生産能力増強（マレーシア(ライオンエコケミカルズ)）



新しいビジネス価値の開発　通販事業

・2014年目標１００億円を前倒しで達成
・定期購入者１５万人突破

通販事業売上推移

（単位：百万円）



2013年
前期比110%

第2の柱創出



2014年業績予想

2014年経営環境　原料・為替の前提

原料価格の前提

	ドバイ原油	国産ナフサ	粗パーム油
2014年想定	$108/BBL	70,000円/KL	RM2,600/ton

為替の前提

	米ドル	タイバーツ	韓国ウォン
2014年想定	102.0円	3.10円	0.1円

国内市場環境

日用品市場：単価横ばい、数量微増、
金額微増の傾向

OTC医薬品市場：単価横ばい、数量微減、
金額微減の傾向

海外市場環境

２０１４年ＧＤＰ伸び率予測（対１３年）

ＡＳＥＡＮ５：　５．４％
ＮＩＥｓ：　３．８％
中国：　７．３％

ASEAN5(ﾀｲ、ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ、ﾏﾚｰｼｱ、ﾌｨﾘﾋﾟﾝ、ﾍﾞﾄﾅﾑ)
NIEｓ(韓国、香港、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ、台湾)
（13年12月時点の三菱総研予測）

2014年経営環境　業績に影響する外部要因

国内の
消費税増税

新興国の
景気減速

原材料
価格の上昇

不透明感が強い経営環境が続くものと想定

戦略を確実に実行すると共に環境変化に柔軟に対応し

過去最高益(営業利益・経常利益)の更新を目指す

2014年連結業績予想　全社 売上高・利益

(単位：億円)

	2014年	2013年	対前期増減		2014年 第2四半期	2013年 第2四半期	前年同期増減	
			額	率(%)			額	率(%)
売上高	3,600.0	3,520.0	79.9	2.3	1,710.0	1,660.4	49.5	3.0
営業利益 対売上比(%)	120.0 3.3	108.1 3.1	11.8	10.9	30.0 1.8	28.7 1.7	1.2	4.4
経常利益 対売上比(%)	130.0 3.6	123.0 3.5	6.9	5.7	35.0 2.0	39.1 2.4	△4.1	△10.5
当期純利益 対売上比(%)	70.0 1.9	60.9 1.7	9.0	14.8	16.0 0.9	21.0 1.3	△5.0	△23.9

2014年連結業績予想　全社 セグメント別 売上高

【外部売上高】

(単位：億円)

	2014年	2013年	前期増減		2014年 1-6月	2013年 1-6月	前年同期増減	
			額	率 (%)			額	率 (%)
一般用消費財	2,475.0	2,427.0	47.9	2.0	1,160.0	1,136.1	23.8	2.1
産業用品	300.0	312.3	△12.3	△4.0	145.0	148.4	△3.4	△2.3
海外	770.0	726.5	43.4	6.0	387.0	358.4	28.5	8.0
その他	55.0	54.0	0.9	1.8	18.0	17.3	0.6	3.7
合計	3,600.0	3,520.0	79.9	2.3	1,710.0	1,660.4	49.5	3.0

2014年　基本方針と主要施策

戦略１・国内事業の質的成長

・市場創造型商品の創出と高付加価値品の育成
　（ヘルスケアブランド強化、消費税対応）
・化学品分野の収益性向上に向けた事業構造の改革

戦略２・海外事業の量的成長

・グループシナジーの発揮
　（グローバルブランド＆ローカルブランド戦略）
・先行投資事業の収益化（フィリピン、ライオンエコケミカルズ）

戦略３・新しいビジネス価値の開発

・通販事業の拡大（第２の柱の早期育成）
・ネットチャネル市場の開拓

戦略４・組織学習能力の向上

⬇

成長のための基盤強化

2014年の取組内容　国内事業の質的成長

◇ヘルスケアブランドの強化

オーラルケア



「クリニカ」シリーズ

ＯＴＣ医薬品





バファリンプレミアム　　ハリックス　ほぐリラ

制　汗　剤



Ｂａｎ　汗ブロックロールオン

2014年の取組内容　国内事業の質的成長

◇高付加価値品の育成

オーラルケア
中高価格帯歯磨の育成





ファブリックケア
超ｺﾝﾊﾟｸﾄ液体洗剤と高残香柔軟剤強化







ＯＴＣ医薬品
中高価格帯の充実







リビングケア
生活提案型住居用洗剤の育成







ビューティケア
高付加価値品の育成





2014年の取組内容　海外事業の量的成長

◇グループシナジーの発揮

グローバルブランドの展開

「システマ」は9カ国・地域
全エリアで展開中
今後、品揃え強化

中国



香港



台湾



香港



タイ



フィリピン



マレーシア



シンガポール



インドネシア













KODOMO プロジェクト

2014年の取組内容　海外事業の量的成長

◇先行投資事業の収益化

フィリピン事業の拡大





植物物語「ＨＡＮＡ」

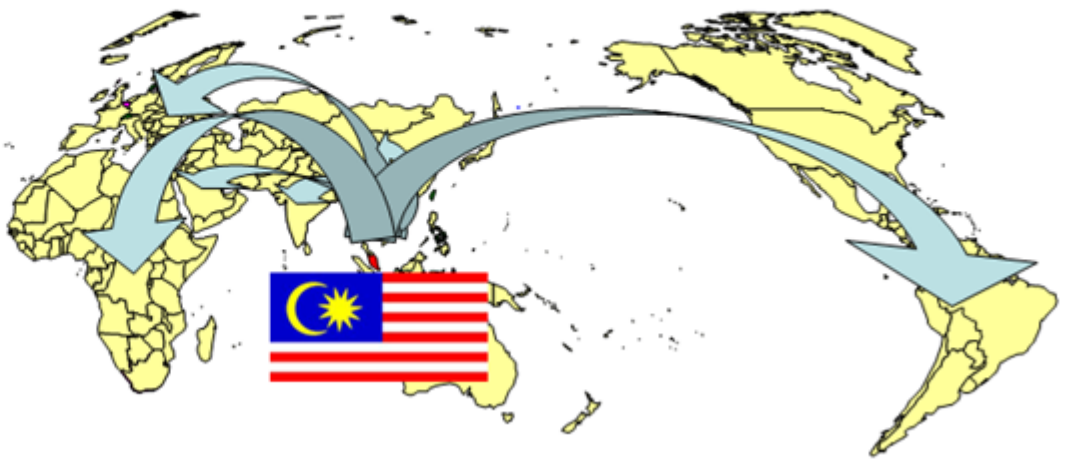


システマ

ライオンエコケミカルズ：MESのユーザー拡大

MES＝ﾒﾁﾙｴｽﾃﾙ脂肪酸ﾅﾄﾘｳﾑ





2014年の取組内容　新規ビジネス

LION

◇通販事業：第２の柱の早期開発・育成

メタボケア

病気をしない
身体づくり



QOLケア

しっかり動ける
活き活き生活







2014年の取組内容　新規ビジネス

LION

◇ネットチャネル市場の拡大

消費者





ネットスーパー

小売業のﾈｯﾄｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｻｲﾄ

ネット専門通販業者



LIONの通信販売

LION オンラインショップ

あなたの快適な暮らしを応援

0120-056-208 受付時間：9:00~20:00(年中無休)

自社サイト



製品の販売

生活情報の提供





「Ｖ－１計画」連結業績目標との乖離

（単位：億円）

	2014年 当初目標 (2012年公表)	2014年 公表	対当初目標増減	
			額	率(%)
売上高	3,650.0	3,600.0	△50.0	△1.4
営業利益 対売上比(%)	200.0 5.5	120.0 3.3	△80.0	△40.0
経常利益 対売上比(%)	210.0 5.8	130.0 3.6	△80.0	△38.1
当期純利益 対売上比(%)	115.0 3.2	70.0 1.9	△45.0	△39.1

「V－１計画」の進捗状況

	2013年までの進捗	2014年 「Vision2020」に向けての基盤強化
国内	●高付加価値・新市場開拓型新製品の成長 ●「商品構成の改善」により収益は早期に回復 ●初年度の利益乖離は埋まらず	●ヘルスケア分野のブランド育成・高付加価値品の構成比引上げ ●ホームケア分野・化学品事業分野の収益構造改革
海外	●進出エリアの拡大 ●生産体制拡充	●先行投資事業の収益化 ●グループシナジー強化
新規	●通販事業の売上目標100億円達成	●通販事業第2の柱創出

「Vision2020」実現に向けて

LION

国内事業の質的成長

・高付加価値品の育成継続
・化学品分野の事業構造改革

海外事業の量的成長

・グループシナジーの発揮
・新規エリアへの進出

新しいビジネス価値の開発

・通販事業の拡大
・ネットチャネル活用

組織学習能力の向上

→

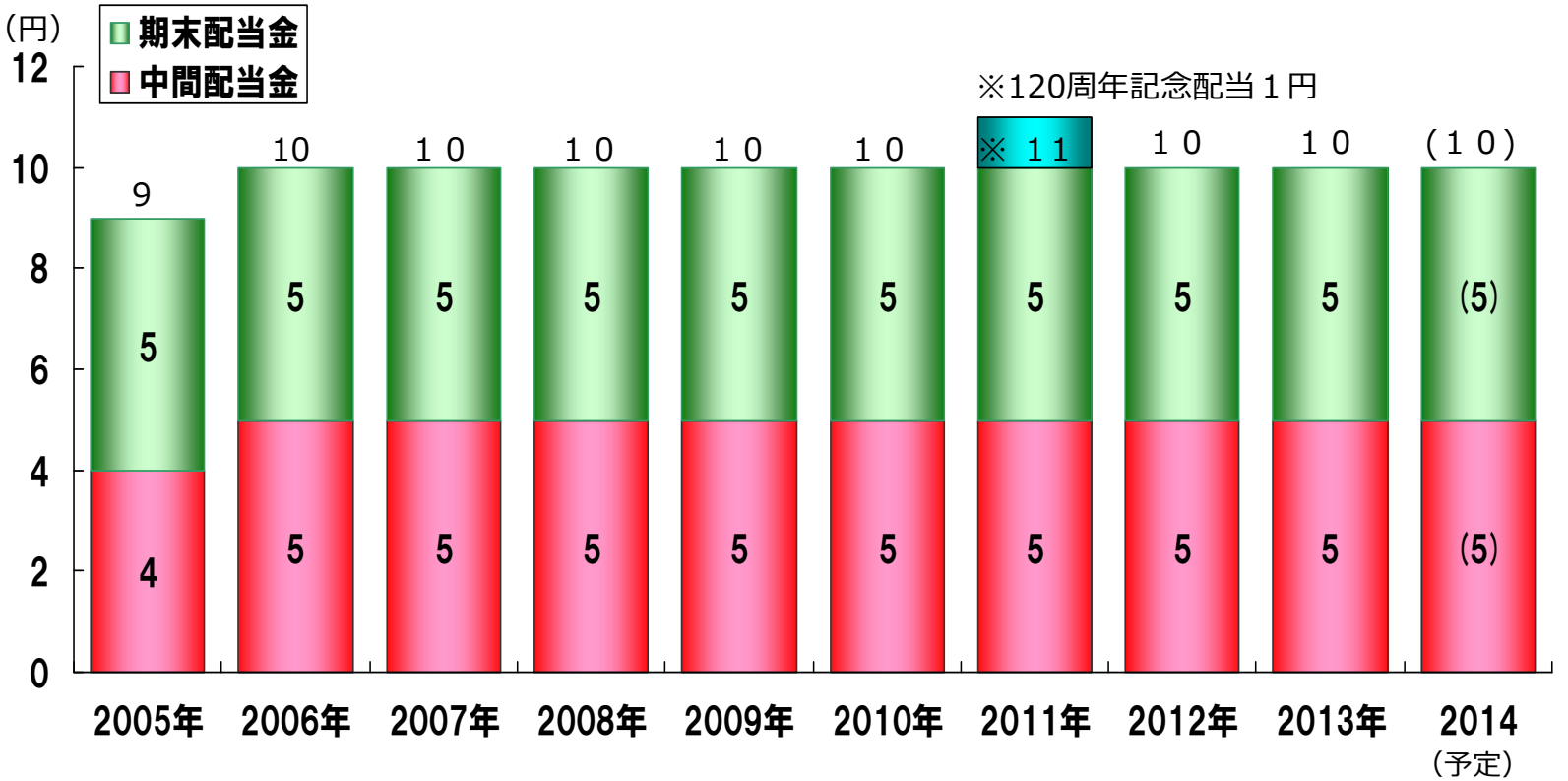
成長のための基盤強化

→

Vision2020

株主還元

1株当たり配当金



配当性向（%）

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
連結	47.1	51.0	49.9	89.0	49.5	44.6	72.4	63.4	44.0
個別	54.7	47.2	53.2	93.0	65.4	46.1	82.4	86.9	52.6

今日を愛する。

LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

※金額は表示単位未満切捨てで表示しております。

参　考　資　料

比較損益（連結）

(単位：億円)

	2013年	2012年	増減	
			額	率（%）
売上高	3,520.0	3,351.7	168.3	5.0
売上原価	1,533.3	1,453.8	79.5	5.5
売上総利益	1,986.6	1,897.8	88.8	4.7
販売費及び一般管理費	1,878.4	1,825.7	52.7	2.9
営業利益	108.1	72.1	36.0	50.0
営業外収益	23.5	22.6	0.8	3.9
営業外費用	8.7	9.1	△0.4	△4.5
経常利益	123.0	85.6	37.3	43.6
特別利益	15.5	3.6	11.8	322.2
特別損失	29.2	3.3	25.8	767.3
税金等調整前当期純利益	109.2	85.9	23.3	27.1
法人税、住民税及び事業税	40.5	20.4	20.0	98.3
法人税等調整額	1.5	16.5	△14.9	△90.4
少数株主利益	6.1	6.5	△0.4	△6.7
当期純利益	60.9	42.3	18.6	43.9

販売費及び一般管理費（連結）

	2013年		2012年		増減	
	億円	構成比(%)	億円	構成比(%)	億円	率(%)
販売費及び一般管理費	1,878.4	53.4	1,825.7	54.5	52.7	2.9
販売手数料	119.6	3.4	166.7	5.0	△47.1	△28.3
販売促進費	783.8	22.3	712.2	21.3	71.5	10.0
運送費及び保管費	159.7	4.5	158.1	4.7	1.6	1.1
広告宣伝費	242.7	6.9	247.2	7.4	△4.5	△1.8
給料及び手当	136.6	3.9	129.9	3.9	6.6	5.1
研究開発費	96.1	2.7	89.8	2.7	6.2	7.0
その他経費	339.6	9.7	321.4	9.6	18.1	5.7

主な特別利益・損失（連結）

（億円）

	2013年		2012年	
特別利益	固定資産処分益	0.4	固定資産処分益	2.9
	投資有価証券売却益	14.2	投資有価証券売却益	0.6
	その他	0.8		
	合計	15.5	合計	3.6
特別損失	固定資産処分損	8.9	固定資産処分損	2.0
	減損損失	19.6	減損損失	1.3
	投資有価証券評価損	0.4		
	その他	0.2		
	合計	29.2	合計	3.3

連結貸借対照表（抜粋） Ⅰ

(単位：億円)

	2013年	2012年	増　減
流動資産	1,481.5	1,310.4	171.0
現金及び預金	255.5	261.4	△5.9
受取手形及び売掛金	572.4	512.1	60.2
有価証券	254.2	163.5	90.7
たな卸資産	350.8	318.3	32.5
固定資産	1,339.4	1,265.4	74.0
有形固定資産	689.8	619.5	70.3
無形固定資産	126.0	177.5	△51.4
投資その他の資産	523.5	468.3	55.1
資 産 合 計	2,820.9	2,575.9	245.0

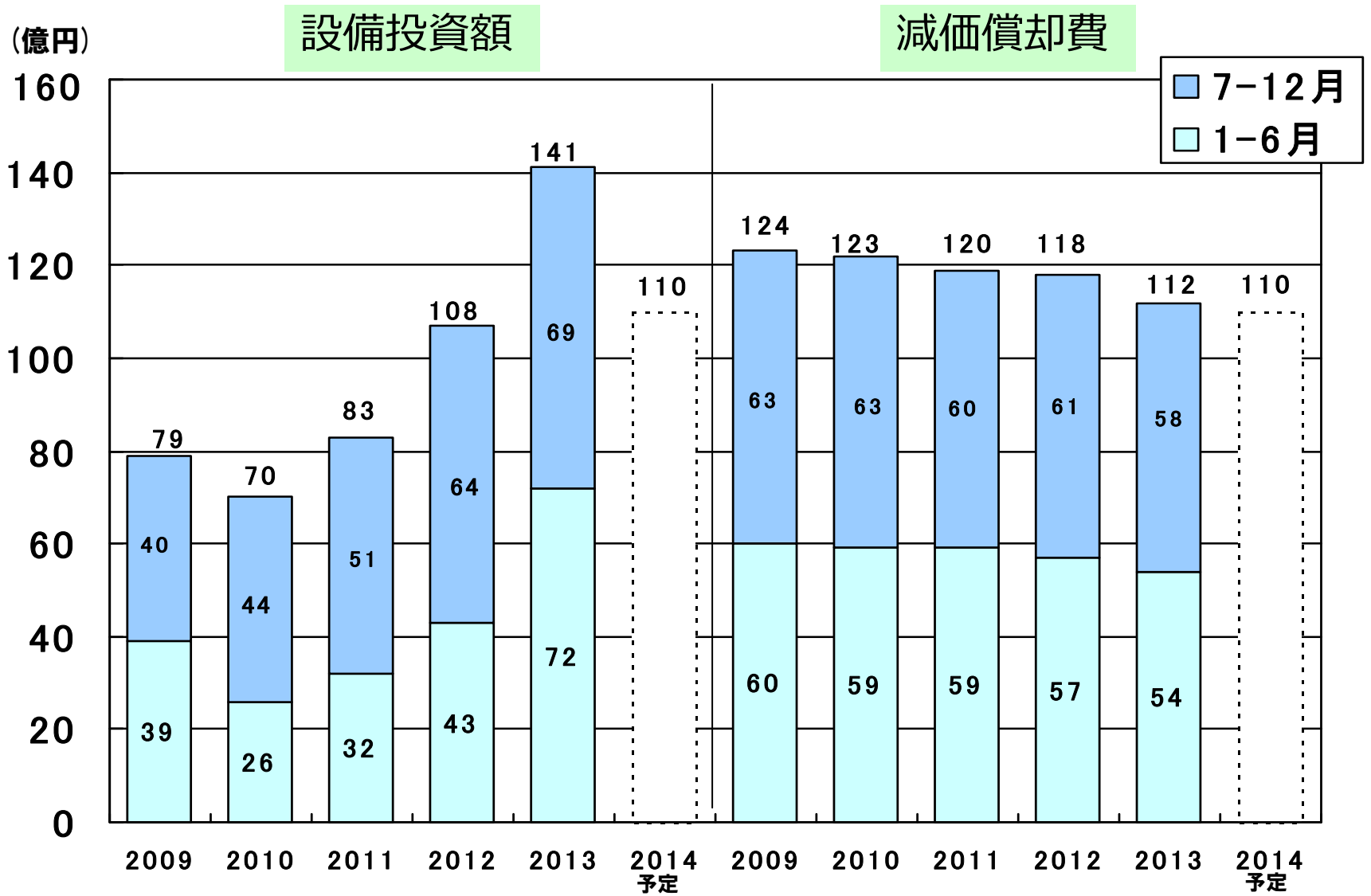
連結貸借対照表（抜粋）Ⅱ

(単位：億円)

		2013年	2012年	増　減
流動負債		1.316.5	961.4	355.1
	支払手形及び買掛金	499.1	405.3	93.8
	短期借入金	96.1	59.4	36.6
	１年内返済予定の長期借入金	224.6	24.1	200.5
	未払金及び未払費用	390.8	396.5	△5.6
固定負債		262.0	472.8	△210.8
	長期借入金	2.0	226.7	△224.6
	退職給付引当金	193.5	192.3	1.2
資本金		344.3	344.3	–
利益剰余金		614.1	579.9	34.1
自己株式		△167.5	△166.5	△0.9
少数株主持分		55.9	47.7	8.1
純資産合計		1,242.3	1,141.6	100.6
負債純資産合計		2,820.9	2,575.9	245.0

設備投資額・減価償却費（連結）

LION



※設備投資額、減価償却費ともに無形固定資産分も含む。

キャッシュフロー（連結）

(単位：億円)

	2013年	2012年	増 減
営業活動によるキャッシュフロー	229.1	187.6	41.4
投資活動によるキャッシュフロー	△128.1	△91.7	△36.4
財務活動によるキャッシュフロー	△27.7	△49.2	21.5
現金及び現金同等物にかかる換算差額	7.0	6.0	1.0
現金及び現金同等物の増減額	80.2	52.7	27.5
現金及び現金同等物の期首残高	409.1	356.4	52.7
現金及び現金同等物の期末残高	489.4	409.1	80.2

セグメント別業績概要 外部売上高併記

（単位：億円）

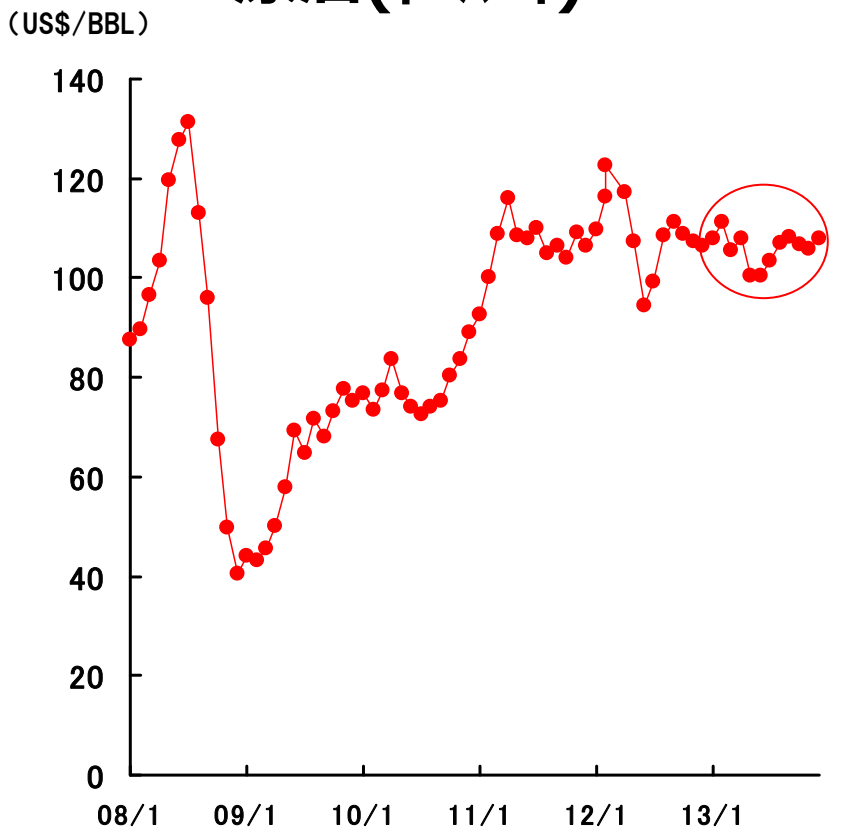
	売上高			
	2013年	2012年	増減	
			額	率（%）
一般用消費財	2,652.0	2,660.4	△8.3	△0.3
	2,427.0	2,442.8	△15.7	△0.6
産業用品	516.3	497.8	18.4	3.7
	312.3	301.5	10.7	3.6
海外	768.6	591.7	176.9	29.9
	726.5	560.9	165.6	29.5
その他	287.2	297.9	△10.7	△3.6
	54.0	46.3	7.7	16.6
売上高計	4,224.2	4,047.9	176.2	4.4
外部売上高計	3,520.0	3,351.7	168.3	5.0

◇上段：売上高、下段：外部売上高
　なお、売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含む。

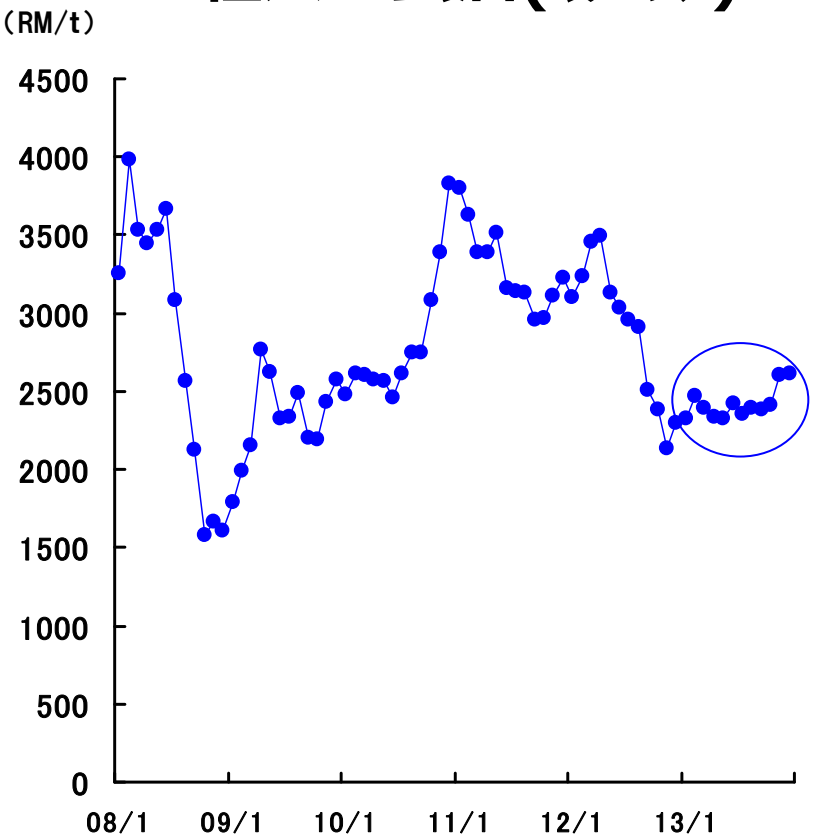
2013年の経営環境

① 原料価格の推移

原油(ﾄﾞﾊﾞｲ)



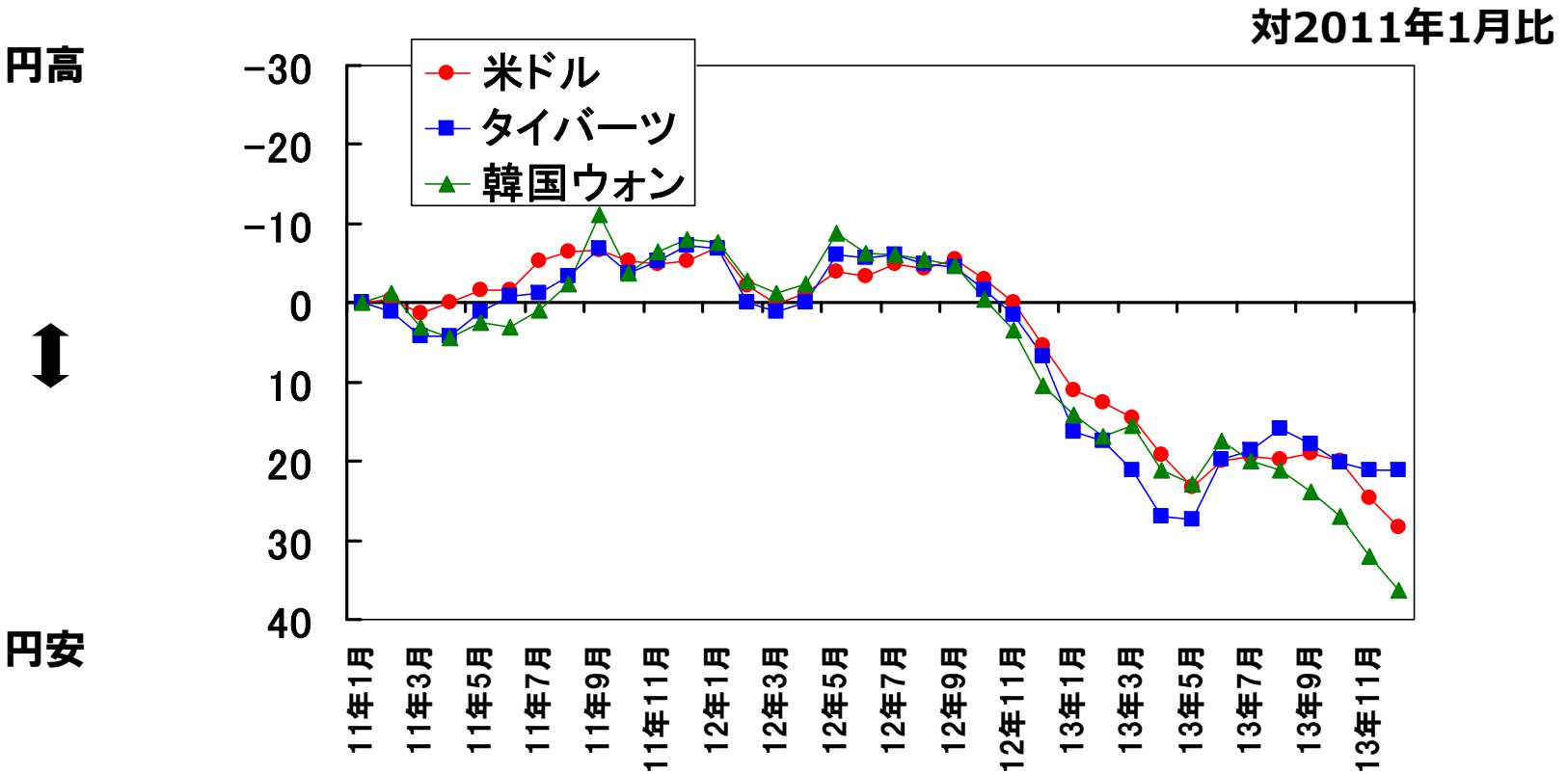
粗パーム油(ﾏﾚｰｼｱ)



原料	年初想定（年間）	2013年	2012年	対前期比
原油	$115/BBL	$106/BBL	$109/BBL	△ 2.8%
粗パーム油	RM3,300/ton	RM2,420/ton	RM2,890/ton	△16.3%

2013年の経営環境

② 為替の推移



通貨	年初想定（年間）	2013年	2012年	対前期比
米ドル	85.0円	98.0円	80.1円	（円安）22.3%
タイバーツ	2.70円	3.18円	2.58円	（円安）23.3%
韓国ウォン	0.0750円	0.0898円	0.0715円	（円安）25.6%

今日を愛する。

LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

※金額は表示単位未満切捨てで表示しております。